



かけがえのない 命を守るために

「自殺」の現状について

「命」は何ものにもかえられない、かけがえのないものです。

全国では平成10年以降、14年連続して年間3万人（広島県においては600人）を超える人が自ら命を絶ち亡くなっています。

その背景には、家庭や職場、学校での人間関係、就職難が原因の経済的問題、病気や老後の不安など、さまざまな要因があります。多くの人が亡くなる直前に心の病気にかかっていたことが報告されるなど、深刻な社会問題となっています。

このような状況から、大切な命を守るため、自殺を考えている人などに対し、適切な対応や支援を行い、自殺を未然に防ぐ施策が急務となっています。

「自殺」の防止について

「自殺」を意識した悩みを抱えている人は、「一人に悩みが話せない」、「どこへ相談すればよいのか分からない」、「どのように解決すればよいのか分からない」など、誰にも悩みを打ち明けられず、孤立した状況に陥ることがあります。

また、さまざまな悩みが原因となつて追い詰められ、自殺以外には選択肢はないとしか考えられないような心理的状态に陥ってしまうことがしばしば見受けられます。

そのような時、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いてくれる人が身近にいたなら、どんなに心が救われることでしょう。

市では、平成21年10月から「いのちのホットライン竹原」を開設し、電話と対面による相談事業を実施しています。

これまでの相談件数は230件を超え、悩みを抱える本人や家族・知人など、さまざまな人から相談が寄せられています。話を聞いてほしい時、いつでもお電話ください（10ページ右上参照）。

心に寄り添うゲートキーパー

「大丈夫？何かあった？」あな

たの気づきやそのひと言で救える人がいます。

家庭や職場、地域で悩みを抱えた人のサインに「気づく」、悩みを「傾聴する」、適切な相談機関に「つなぐ・見守る」といった役割を担う人を、自殺対策における『ゲートキーパー』といいます。

現在、ゲートキーパーを養成する取組みが全国で推進されています。身近な人や大切な人の悩みに気づくため、みなさんも学んでみませんか。

ゲートキーパー育成研修会

日時 7月28日（土） 13時～15時30分

場所 広島県健康福祉センター

（広島市南区皆実町一丁目6-29）

※入場無料、事前申し込み不要。

問い合わせ

ひろしま健康づくり県民運動推進

会議事務局

☎082-254-7132



人権標語・男女共同 参画標語を募集します

市民一人ひとりの人権が尊重され、豊かで明るい、生きがいのある社会の実現に向けて、広く市民から人権標語・男女共同参画標語を募集します。

採用作品は今後の人権啓発に活用させていただきます。

募集作品

標語（応募用紙等は自由）

※ただし、人権標語か男女共同参画標語か作品ごとに明記してください。

テーマ

- ・言葉やあいさつの大切さ
- ・平和に関すること
- ・家族や友だち、命を大切にすること

- ・男女が協力し合うことの大切さ
- ・その他、自分が「こうしたい」「こう思う」「こう変えたい」などの思いを込めたもの

応募方法

9月7日（金）までに、作品に住所・氏名・電話番号を記入のうえ、人権推進室（〒725-8666 住所不要）へ。

☎22-7736

